

SHIRAKOBATO

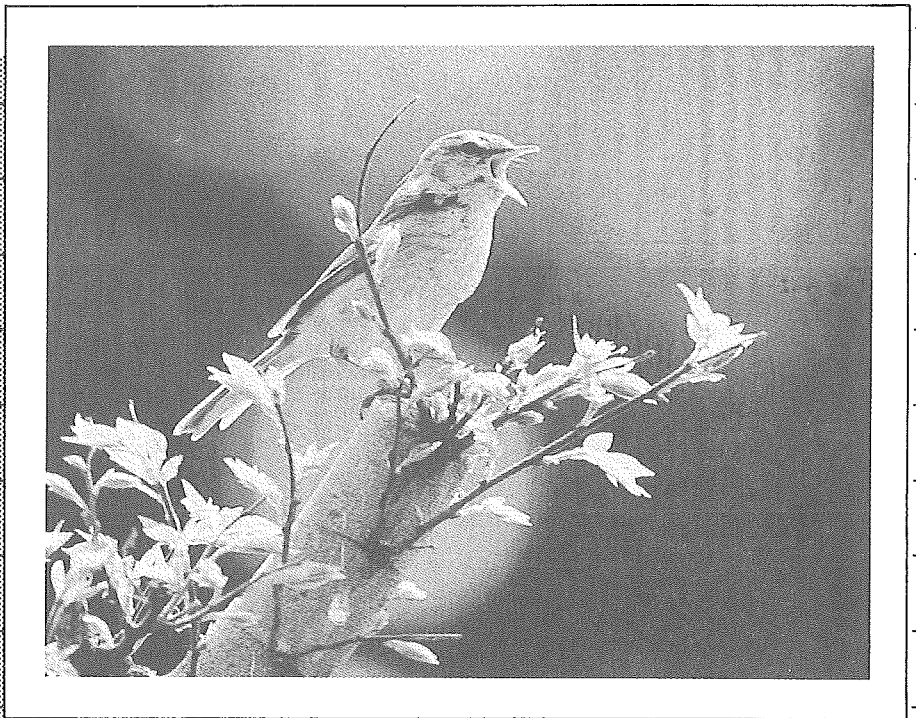
しらこぼと



1999. **1**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 177

日本野鳥の会 埼玉県支部

正月だ!!、鳥見の始めはタカだ!!、鷹だ!!

山部直喜(三郷市)

私は、タカ類に出会った日をラッキー・デイ(Lucky Day)とし、その日の手帳の日付を赤で丸く囲んでいる。どうしてもラッキー・デイにしたい時などは、朝早く起きてその姿を探すこともある。

もし、1月1日がラッキー・デイなら、その年を気持ちよくむかえられそうだ。正月はタカだ、タカだ、タカ見に行こう。

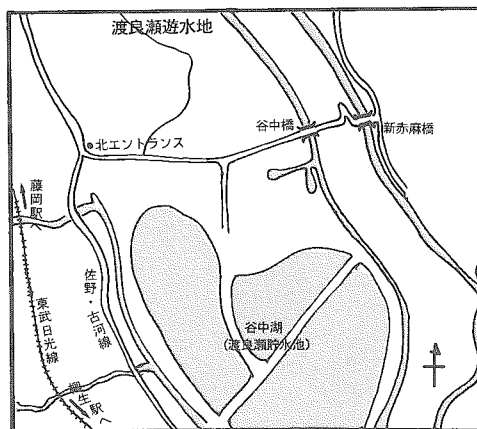
渡良瀬遊水地

ここは、栃木・群馬・茨木・埼玉の4県にまたがる日本最大の遊水地だ。タカ見のポイントは谷中湖(渡良瀬貯水池)の北側に広がるヨシ原だ。

まず新赤麻橋まで行ってみよう。渡って突きあたりが、鳥見の人達から「鷹見台」と呼ばれている所である。ここは全く「鷹見台」の名に恥じない所で、目の前に広がるヨシ原をすべるように飛ぶチュウヒ、上空をゆっくり舞うトビやノスリ、空中停止をしているチョウゲンボウ達は飽きるほど見る事ができる。オオタカ、コチョウゲンボウもここでは決して珍しい鳥ではない。ハヤブサも入ることがある。

もし現れなければ、望遠鏡でヨシ原の中の立木を一本一本見ていってほしい。上記のチュウヒ以外のタカがとまっているはずだ。

また、ここは情報交換の場でもあり、来ている人に積極的に話しかけるとよい。必ず有益な情報を得る事ができるはずだ。



次は少し戻って谷中橋と北エントランスの間一帯を注意してみよう。ヨシ原の中の立木を一本一本見るのがよい。

しかし、ここの大物は何と言ってもハイロチュウヒだ。しかも♂♀がそれぞれ複数で出る。詳細なポイントは、行けば分かる。午後3時すぎに車が集まっているところだ。

最寄りの駅は東武日光線藤岡駅。そこから新赤麻橋まで約5km。

彩湖

南浦和駅西口3番バス乗場より、下笹目行き(武蔵浦和駅・道満グリーンパーク経由)にて道満グリーンパーク下車。公園を横切り彩湖に出る。

まず、彩湖に架かる東京外環自動車道(幸魂大橋)近くの鉄塔36番の最上部を見てみよう。ハヤブサがよくとまっており、そこから



「鷹見台」毎日のように通っている人もいるという。

新年、明けましておめでとうございます

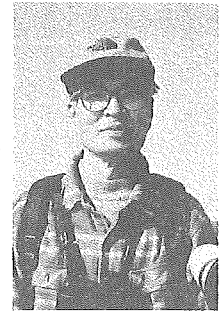
会員の皆様におかれましては、家庭で、探鳥地で新しい年をお迎えの事と存じます。昨年は社会的に深刻な不況で暗い話題ばかりでした。今年はいくらかでも明るいきざしが見えてくることを願います。

さて今年は埼玉県支部発足15周年を迎えます。発足当初200人足らずの会員も現在3000人を越し全国でも3番目に入る大きな支部に成長しました。これも会員1人1人の結束の賜物です。当支部の運営は全員ボランティアの方で行われています。今年も会員増が予想されます。したがって事務局、探鳥会、調査活動などには皆様のお力が是非とも必要

支部長 中島康夫

です。ご協力下さい。

野鳥の会は鳥を見る人の集まりと見られがちですが、15周年を機にもう一度初心にかえり、野鳥のすばらしさ、自然のすばらしさ、自然の大切さを考える年にしたいと思えます。私も支部長に就任し2年目を迎える訳ですが、皆さんと「一緒に考え、一緒に楽しむ」をモットーにがんばりますので、よろしくお祈りします。皆様のご活躍をお祈りします。



カモ達をねらっている。運がよければ、カモ達を襲うシーン、或いは、食べているシーンが見られるかもしれない。

ハヤブサを確認できたら鉄塔の根元を見よう。カワウがどっさりいるはずだ。その中によくノスリが混じっている。お互いに仲間と思っているわけではなく、とまる所が似たような所だからだろう。しかし、カワウはノスリを怖れてはいないわけで、なんとなく情けない。

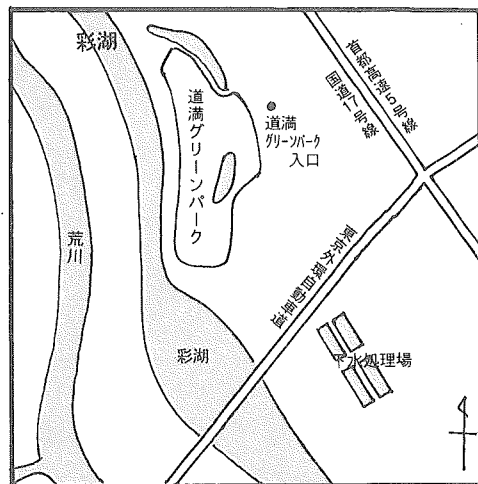
また、彩湖をフィールドとしているEさんによれば、出現率の1位はチョウゲンボウ、2位ノスリ、3位ハヤブサ、4位オオタカだそう。

あなたの近所で

冬季は、意外とタカ類を身近で体験することが多い。例えば蓮田市の黒浜沼では、ここ4年間、オオタカが2羽越冬しているという。あなたのフィールドでも丹念に探してみよう。

私は、自分の生活圏内にある高圧電線の鉄塔はくまなく見ることにしている。その結果、今冬ではノスリ1羽、ハヤブサ2羽(右写真参照)、オオタカ1羽を確認できた。

これで、またまたラッキー・デイが増えそう。なお、出現が予想できるタカの種類



は、全て冬季に限り紹介した。

1998年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：1998年9月15日（火）
 9:30～11:30 大久保農耕地
 天候：くもり

9月15日に大久保農耕地でシギ・チドリ類の調査を行いました。この日は台風5号の接近で大雨の心配がありましたが、どうにかくもりとなり、支部会員29名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

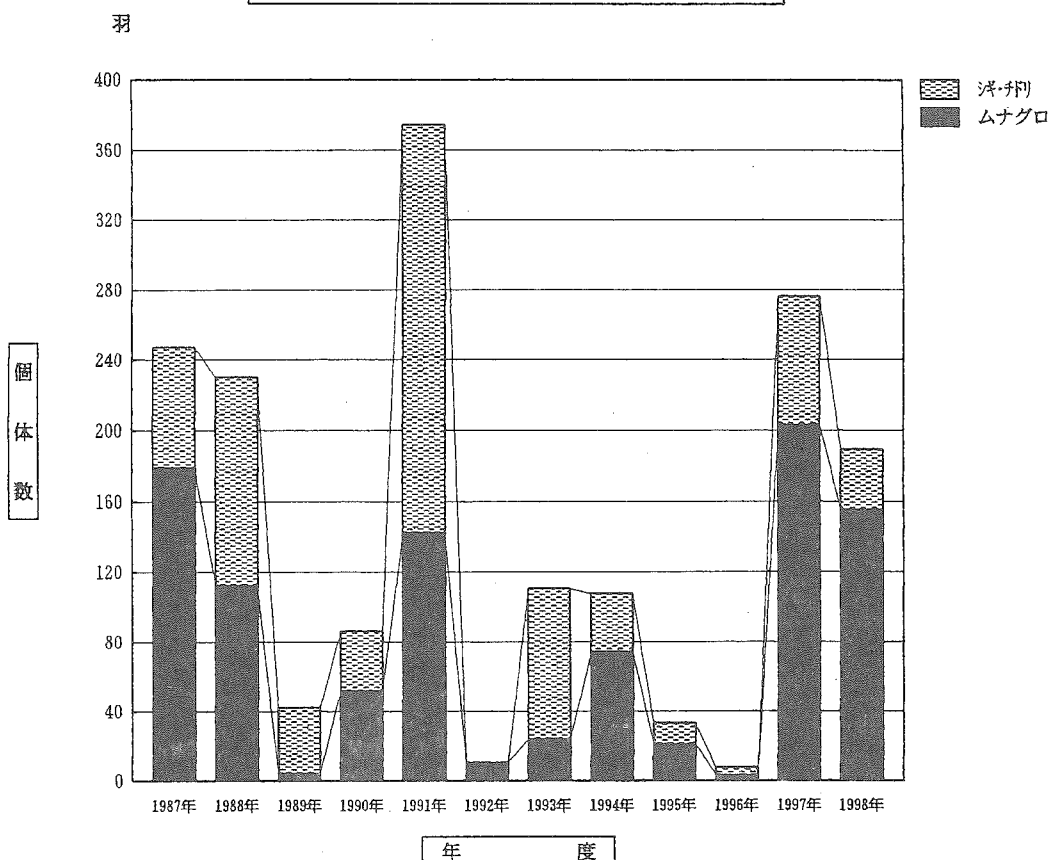
観察された鳥類・個体数は5種189羽で、昨年秋の大久保農耕地と比較すると種数で3種、個体数では87羽少なくなっています。

今年は、8月から大雨や台風などで不順な天候が続きましたが、グラフからもわかるように、ムナグロの数だけをみると150羽を越え、ここ12年間のうちでも多い方となりました。また、当日は天候が悪かったためか、今年も治水橋上流の田で125羽のムナグロが確認されました。

グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

(石井 智)

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類

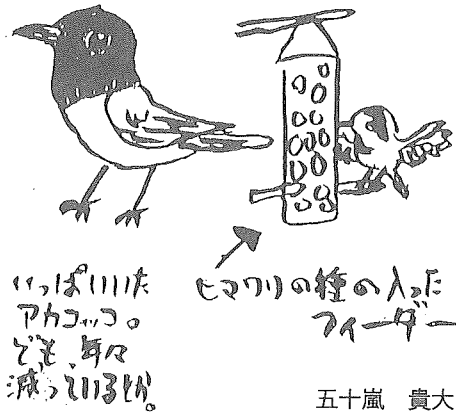


1995年～1998年 秋のシギ・チドリ類調査結果

調査地	大久保農耕地 浦和市／大宮市			
	'95年	'96年	'97年	'98年
コチドリ	1	—	13	—
ムナグロ	21	3	203	155
エリマキシギ	—	—	1	2
クサシギ	—	1	—	—
タカブシギ	—	—	4	—
イソシギ	—	—	1	—
コシャクシギ	—	—	—	6
タシギ	11	1	51	24
オオジシギ	—	2	—	—
チドリSP.	—	—	1	—
ジシギSP.	—	—	1	2
個体数合計	33	7	276	189
種数合計	3	4	8	5

「鳥の目から環境を調べよう！」調査依頼

1998/1999年冬の本調査を12月1日から1月31日の期間で実施中です。今月号に同封の調査はがきに、ご自宅から半径50m以内で期間中に見聞きした鳥を記入してお送り下さい。本調査の性格からドバトのようなかごめけの種もご記入下さい。(研究部)



五十嵐 貴大

友といっしょに見たいもの

陶山和良 (浦和市)

“しらこぼと”の野鳥情報に誘われて、コミズクを見ようと荒川第一調節池へ出かけた。まだ2時だというのに、雨曇りの師走の午後は薄暗い。時々冷たい風が頬をなでる。黄土色に染まった枯草原には人影もない。

目をこらすと、草原すれすれにゆっくりと飛んでいる黒い猛禽の姿がある。すばやく双眼鏡を目にあてると、V字型の翼に腰が白い。チュウヒだ！ 突然、上空から少々小型の黒い影。数秒間からみあったが、チュウヒは悠々と堤防を乗り越えて飛び去ってしまう。

肩すかしをくわされたのは、チョウゲンボウ。近くの電線に止まって小休止。10分程の休憩後、舞い上がりホバリングを何回となく繰り返していたが、獲物は発見できなく、荒川下流へと向かう。

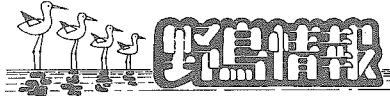
何とその直後の上空へ、翼の広い猛禽が。尾にはハッキリと縞模様が見える。オオタカだ！ やったー！ 今日はラッキーな日だ。一人で見るのには、おいしい気がする。

人間は勝手なもので、一人は気ままでいいな—と思いながら、いい場面に出会うと、友と共に確認しあい、喜びをいっしょに味わいたいと思うところがある。そんな日に限ってベニマシコまでおまけに出現。興奮が高まり、また翌日出向き、小雨の中ベニマシコに再会。喜びが倍増した師走の二日間であった。

三宅島からこんにちは！

五十嵐貴大 (浦和市)

今年は大路池によく行きました。釜方ではアオウミガメを見ました。岩から20mぐらいのところ、ぶかぶか顔をだしたりしていました。そこでカツオドリも見ました。とても大きかったです。悲しいことにビニールひもが足につくむすんであるキジバトを見つけました。風切羽が切れ、弱っていました。どうやら人間のしわざのようで、とても悲しい気分になりました。うーむ… 最後の日にアカコッコ館にも行ってきました。餌台にオーストンヤマガラが来ていて、よく見ることができました。



狭山丘陵いきものふれあいの里センター

◇10月25日、ジョウビタキ初認（小林茂他1名）。◇10月25日～11月9日、キビタキ♂1羽♀4羽が渡りの途中に立ち寄った。♀の方がよく地鳴きをして、姿を現すようだ。10月29日は、♂が柵の上に10分以上とまっていた鮮やかな色を十分に堪能することができた（小林ますみ他5名）。◇10月31日、トラツグミ1羽。11月2日、ツグミ初認。11月3日、エナガ、メジロ、シジュウカラ、コゲラの混群。鳥と同じ方向に私が移動していたのだろうか。約1時間半、ずっと一緒だった気がする。11月6、9日、アカゲラ。11月9日、シロハラ初認（小林ますみ）。

狭山湖 ◇10月27日、カナダガンの亜種4羽がまだいた。ユリカモメ15羽、一列に立っていたアオサギ21羽、ハマシギ23羽、タヒバリ1羽（小林ますみ）。

浦和市・戸田市彩湖 ◇11月2日、武蔵野線下の草原でホオアカ1羽。11月11日、幸魂大橋東の草原でベニマシコ♂1羽。11月18日、オオタカ1羽、ハイイロチュウヒ♀1羽。11月23日、北部栈橋のそばでミコアイサ♂1羽♀5羽。中の島の鉄塔上でハヤブサ1羽（倉林宗太郎）。

戸田市西坂戸調整池 ◇11月3日、ハシビロガモ♂2羽、♀2羽。当地初認（増尾隆・節子）。

浦和山下山口新田 ◇11月7日午前10時30分頃、芝川第一調節池でコハクチョウ8羽。内幼鳥2羽。いつもここで写真を撮っている人の話によりますと、6日の夕方3羽が上空を飛んでいるのを見た。今朝来たら池に8羽降りていたとの事でした（藤野富代）。

大宮市大成1丁目霧敷川 ◇11月7日、ツグミ2羽、電線で互いに鳴き交わす。コガモ24羽、汚れた小川でかわいそう。11月8日、ジョウビタキ♂1羽（浅見健一）。

大宮市三橋5丁目鴨川第一調節池 ◇11月8日、ツグミ3羽、タシギ1羽、ウグイス1羽、キセキレイ2羽、ジョウビタキ♂1羽、ユリカモメ2羽（浅見健一）。

大宮市日進1丁目 ◇11月8日、ジョウビタキ♂1羽、ツグミ1羽、アカハラ1羽。シジュウカラ、メジロの混群中にヒガラ2羽、キクイタグキ1羽、ビンズイ1羽（浅見健一）。

吉見町町営グラウンド ◇11月8日、上空でノスリ1羽（石井智）。

大宮市堀の内町 ◇11月8日午前9時頃、大宮第2公園東側の芝川を愛犬と散歩していると、ヨシの中から「キュッキュッ」という聞き慣れない声。対岸に回って探すと・・・いました。クイナ1羽。バン成鳥と一緒に朝日を浴びて、のんびり羽づくろいをしていました。バンが近づく度に「キュッキュッ」と鳴いて、いやがっているようでした（浅見徹）。

越谷市県営しらこぼと水上公園 ◇11月10日、シラコバト5羽、カワセミ♂1羽、シメ4羽、ダイサギ1羽、ベニマシコ♂1羽♀2羽、ジョウビタキ♀1羽、キジ（大塚操）。

坂戸市入西 ◇11月10日、チョウゲンボウ2羽。清掃センター時計塔の時計の少しずつ動く長針に♂1羽がとまっていた（増尾隆）。

白岡町柴山沼 ◇11月11日午後3時頃、ウソ♀1羽、かなり長いことさえずっていました。初心者なので変わった鳥を自分で見つけて図鑑と照らし合わせたりしたのは、初めてです。ウソは初めて見たのでうれしかった（福田英子）。

坂戸市城山 ◇11月16日、山中の2ヶ所でシロハラ4羽（増尾隆・節子）。

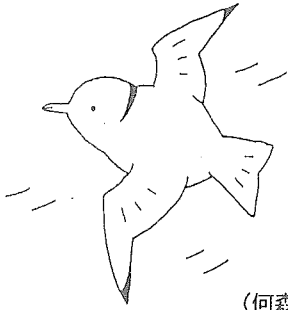
川越市入間川 ◇11月22日午後12時30分頃、川越橋近くでオオタカがコサギを襲い、川岸に運んで30分ほど食事。その後、西の方へ飛んでいった。11月23日、川越線鉄橋辺りでベニマシコ♀1羽（竹ノ内房代）。

表紙の写真

ウグイス（スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科）

武藤健二（所沢市）

行事あんない



(何森 要)

久喜市・菖蒲公園昭和池探鳥会

期日：1月9日(土)

集合：午前8時40分、JR宇都宮線白岡駅西口。集合後バスで「除掘(よけぼり)」下車、徒歩約15分。または午前9時30分、久喜菖蒲公園駐車場。

担当：大坂、中島(康)、玉井、浅田、内田
見どころ：昭和池でも年々カモの飛来する数が減ってきています。それでも千羽以上は来てくれるでしょう。池を巡りながら、数少ないトモエガモを捜し出すのも楽しいことです。アメリカヒドリやカンムリカイツブリも見られたらラッキー。風が冷たいので防寒に注意。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月10日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋

見どころ：今シーズンの冬鳥の到来は順調のようです。今年1年も鳥見人にとっても順調に過ごせるように祈りながら、友達に会いに行きましょう。コハクチョウさんやカモさんもお待ちかねです。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月10日(日)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口東武バス1番バス停前。集合後バスで現地へ。8:45発→高野台下車。または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

担当：吉安、中村(榮)、橋口、松永、宮下、新井、吉岡(明)

見どころ：新春の探鳥は、春日部の外れの内牧から始めてみませんか。公園は冬鳥達で賑わっています。静かな雑木林の中で、じっくりと野鳥との出会いを楽しみましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：1月10日(日)

集合：午前9時15分、東武日光線柳生駅前。または午前9時30分、中央エントランス駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮8:19発→栗橋8:53着、東武日光線乗り換え8:58発→柳生9:08着

解散：13時頃、谷中村史跡駐車場にて

担当：玉井、橋口、入山、内田、高(剋)、高(文)、田邊、中里

見どころ：厳寒の渡良瀬はワシ・タカの王国です。湖面での数千羽のカモやカイツブリの観察も楽しみです。今回は新赤麻橋まで約4kmを歩いてワシ・タカを探します。十分な防寒じたくと昼食持参でお出かけください。

千葉県 船橋海浜公園探鳥会

期日：1月10日（日）

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス船橋海浜公園行き9:40発に乗車、終点下車。

担当：杉本、佐久間、菱沼（一）、篠原（東）

見どころ：日本のスズガモの約3分の1はここ三番瀬に集まります。ミヤコドリも毎年越冬し数も増えてきています。埋立をするなんてとんでもない。鳥だらけの三番瀬に是非お出かけください。

吉見町 吉見百穴周辺探鳥会

期日：1月16日（土）

集合：午前9時30分 吉見百穴前

交通：JR高崎線鴻巣駅東口、中村カメラ店前より東松山行バス8:53発、百穴入口下車、徒歩5分。駐車場利用者は百穴入場券を購入し、フロントガラス内側に見えるように置いてください。

担当：榎本、岡安、内藤、藤掛、立岩、島田、今井

見どころ：昨年は降雪と降雨で中止となったので2年ぶりの吉見百穴です。北風が吹いていなければ、市野川沿いのコースを大沼まで歩きましょう。

浦和市 三室地区定例探鳥会

期日：1月17日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口。集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、森、清水、前澤

見どころ：1999年の三室も、探鳥会の原点は何だろうと考えながら、皆さんと一緒にやっついこうと思っています。ゆっくり楽しく、感動を参加者一同で共有したいものですね。十数年前にここでタゲリを見たときのように。

滑川町 武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月21日（木）

集合：午前9時40分 森林公園南口前

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バスで終点下車

費用：入園料400円（子供80円）

担当：櫻庭、中村（榮）、藤掛、大坂、兼元、堀、高橋

見どころ：森林公園第2弾、しかも本年最初の平日探鳥会！ 静かな園内の落ち葉を踏みながら冬鳥達にご対面です。ルリビタキ、シメ、シロハラ、そしてカモ達。心踊る瞬間ですね。

大宮市 花の丘公園探鳥会

期日：1月23日（土）

集合：午前9時20分 花の丘公園駐車場

交通：JR高崎線宮原駅西口より、東武バス大宮花の丘行き9:00発で終点下車

担当：浅見（徹）、櫻庭、中村（榮）、浅見（健）、飯塚、丹、高（剋）、高（文）

見どころ：公園周辺の雑木林や農村地帯に冬鳥を求めて歩きます。カラ類の混群に出会えたら立ち止まってじっくり観察しましょう。キクイタダキは今年も来ているかな。アカゲラ、アオゲラにも期待しましょう。

狭山市 入間川定例探鳥会

期日：1月24日（日）

集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口

交通：西武新宿線本川越8:42発、所沢8:36発に乘車

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、小野、中村（祐）、山本、久保田、上野

見どころ：タヒバリやシメなどの地味な鳥に注目。目をひくような色彩や希少性はないけど、良く見ると好きになるかも。

草加市 そうか公園探鳥会

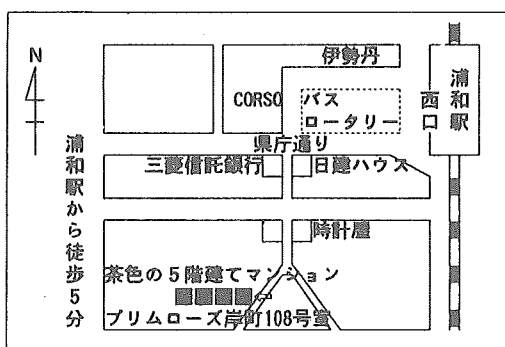
期日：1月24日（日）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線松原団地駅東口。集合後東武バス9:00発青柳循環で「総合グランド前」下車。または

午前9時30分、そうか公園第2駐車場。
 担当：山部、神場、新井、大塚、小菅、田邊、吉岡（明）
 見どころ：超ビギナー向け探鳥会。ホシハジロ、キンクロハジロ、ハシビロガモ、カルガモ、コガモだけ。これらのカモ達を間近な距離でじっくり観察します。

『しらこぼ』寝つめの会

とき：1月30日（土）午後1時～2時頃
 会場：支部事務局108号室



宮城県・伊豆沼探鳥会

期日：1月30日（土）～31日（日）
 定員に達しましたので締切りました。

長瀬町・長瀬探鳥会

期日：1月31日（日）
 集合：午前9時30分 秩父鉄道長瀬駅前
 交通：秩父鉄道熊谷8:23発、または御花畑9:05発（西武鉄道所沢7:44発が乗り入れ）に乗車
 担当：小池、佐久間、青山、林（滋）、岡野、堀、堀口、井上、喜多
 見どころ：観光のシーズンも終り、静かな流れの荒川になりました。河原でオシドリやキセキレイを観察、宝来島公園でカシラダカやベニマシコを探します。上空にはオオタカにノスリが……ちょっと欲張りすぎかな？

濱田市・黒浜沼探鳥会

期日：2月7日（日）
 集合：午前8時45分 JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前
 担当：玉井、中島（康）、中村（榮）、吉田、田中、松永
 見どころ：黒浜沼周辺は人家に隣接していますが、変化にとんだ環境であるため、多様な里の鳥が期待できます。冬の農村に春の兆しを見つけながら、のんびりと歩いてみませんか。

静岡県・伊豆高原探鳥会（要予約）

期日：2月13日（土）～14日（日）
 集合：午前9時 東京駅
 交通：往復とも鉄道（東海道線・伊東線等）を利用します。詳細は参加者に通知致します。
 解散：14日午後1時頃 伊豆高原駅にて
 費用：15,000円の予定（1泊2食付き宿泊費、懇親会費、保険料を含む）万一過不足の場合は当日清算。
 定員：15名（先着順、支部会員優先）
 申し込み：通常はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、中島康夫 迄

担当：中島（康）、松井
 見どころ：初めての探鳥地です。何が出てくれるか楽しみです。相模湾に臨む城ヶ崎海岸の磯辺に出て海の鳥を、高原では山里の鳥を探して歩きましょう。
 注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

おまけの情報

森林公園かんさつ会

期日：1月15日（金） 2月16日（火）
 3月26日（金）
 集合：森林公園駅9:50、又は公園南口10:15
 費用：バス代400円、入園料400円、園内バス代120円、参加費200円
 主催：武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
 谷津

行事報告



11月8日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 39人 天気: 晴

カワウ コサギ コジュケイ キジバト コゲラ
ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モ
ズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス コガラ
シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シ
メ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (25種) 好天に恵まれ
期待をもってスタート。まずツグミ、アオジ、モ
ズ、カケスなどを確認。各ポイントで十分に時間
を取ってゆっくりと歩いた。雑木林の中ではシメ
、メジロ、シジュウカラをじっくりと観察。コゲラ
が枯れ木にすっぽりと体が隠れるほどの穴を掘っ
ているのを皆で興味深く見る。予期した冬鳥は大
体出てくれて、参加者に満足してもらえた探鳥会
であったと思う。(吉安一彦)

11月8日(日) 富士見市 柳瀬川

参加: 60人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ
カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ キ
ジ イカルチドリ イソシギ タシギ ユリカモ
メ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレ
イ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ツグミ ホオジロ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス (32種) 小春日和を思わせる
陽差しにタゲリを期待した参加者も多かったが、
残念ながらひこばえが伸びた田には姿がなかった。
キジ♂2羽が縄張り争いか、追いかける情景は
珍しかった。中州にタシギ10羽の小群を見て喜び
に変えて解散した。(高草木泰行)

11月14日(土) 栃木県 奥日光

参加: 58人 天気: 晴

マガモ トビ アカゲラ オオアカゲラ コゲラ
カワガラス ミソサザイ アカハラ ツグミ エ
ナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ
ゴジュウカラ キバシリ ハシボソガラス ハシ

ブトガラス (18種) 暖かい好天に恵まれ、赤沼
をスタートしたものの鳥が全く出ず、心配しつつ
青木橋で昼食。食事後、湯川沿いを歩き始めたら、
カワガラス、ミソサザイと出始めた。その後、ア
カゲラとオオアカゲラを皆でじっくり見ることが
できた。60人近い参加者があり有難いことだが、
他のハイカーや観光客にも迷惑がかり、今後一
考を要する。(中島康夫)

11月15日(日) 長瀬町 宝登山

参加: 45人 天気: 快晴

カワウ トビ ハイタカ ノスリ コゲラ キセ
キレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨド
リ ジョウビタキ ツグミ ウグイス キクイタ
ダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ
メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ
ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (26種) 紅葉には少し早いが、抜けるような
秋空が印象的だった。そこへハイタカ成鳥が滑空。
ノスリも2羽出現。トビまで気持ちよさそうに飛
んでいた。鳥自体はパツとしなかったが、そこは
リーダー諸氏の広範囲な自然に関する見識でカバ
ーしていただいたので助かった面がある。次回以
降は時期を検討したい。(小池一男)

11月15日(日) 浦和市 三室地区

参加: 69人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガ
モ キジ クイナ バン イソシギ タシギ ユ
リカモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレ
イ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイ
ス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ
カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス (37種) 先月は台風で、
秋の鳥の季節に残念だった。しかし、今日は快晴、
風もなく、小春日和の楽しい、ゆったりとした探
鳥会となった。ひさしぶりの鴨たちの群れ、クイ

ナも出現して、鳥を見始めたばかりの参加者を感じさせた。(楠見邦博)

11月21～23日(土～月) 石川県 片野鴨池

参加: 35人 天気: 晴、曇、雨、雷

カイツブリ ハジロカイツブリ カワウ ウミウ
ダイサギ コサギ アオサギ マガン ヒシクイ
ハクガン コハクチョウ オシドリ マガモ カ
ルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ オカヨ
シガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ
ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カワ
アイサ ミサゴ トビ オオタカ ノスリ ハイ
イロチュウヒ チュウヒ タカsp ハヤブサ コ
チョウゲンボウ チョウゲンボウ キジ オオバ
ン タゲリ クサシギ シギsp ユリカモメ セ
グロカモメ ウミネコ キジバト カワセミ ア
オゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセ
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カワ
ガラス ミソサザイ ジョウビタキ イソヒヨドリ
シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ
エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカ
ラゴジュウカラ メジロ ホオジロ ミヤマホ
オジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ
スズメ ムクドリ カケス ミヤマガラス ハシ
ボソガラス ハシブトガラス(80種)初めての片
野鴨池探鳥会。北陸独特の雨、雷、晴の天候にあ
ったが、これも一つの体験。水辺の鳥、山辺の鳥、
海辺の鳥とそれぞれの場所を見て回った。オオヒ
シクイの群れ、マガンの群れ、ハクガン1羽、カ
ラスの群れに数羽のミヤマガラス。上空にはハヤ
ブサ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ノスリ、オ
オタカなども沢山見られた。新潟県の朝日池等
でも観察し、皆さん満足した様子。(中島康夫)

11月22日(日) 狭山市 入間川

参加: 42人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ
ギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ
キンクロハジロ トビ キジ イカルチドリ イ
ソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒメア
マツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ キセクレ
イ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイ
ス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ
カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ

ラス(43種)探鳥会にカワセミが出ると雰囲気は
がらっとかわる。「カワセミだ」の一言でみんな
注目。姿が見られればみんな元気。恐るべきカワ
セミパワー。今回は同時に2羽見られて効き目も
2倍。(長谷部謙二)

11月28日(土) 『しらごと』袋づめの会

ホランテア: 19人

荒木恒夫、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、
倉林宗太郎、佐久間博文、篠原東彦、志村佐治、
島田恵司、島田沙織里、納谷美月、福井昭子、藤
掛保司、藤野富代、前澤明男、増尾隆、松村禎夫、
百瀬修、山野豊

11月29日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加: 68人 天気: 晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイ
サギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コ
ガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オ
ナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロ
ハジロ ミコアイサ カワアイサ トビ オオタ
カ ノスリ チュウヒ ハヤブサ チョウゲンボ
ウ オオパン タゲリ ユリカモメ セグロカモ
メ シラコバト キジバト カワセミ ヒバリ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
ドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス
ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ
ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス(50種)暖かい気で大
勢の参加があった。貯水池に群れる鴨。オカヨシ
ガモ、ヨシガモ、マガモの群れ、カワアイサなど
を見ながら谷中湖の一つの貯水池を一周した。ハ
ヤブサがコガモの群れに突入したところが見られ
たのが圧巻。アシ原の上を低く飛ぶチュウヒ、木
に止まるノスリ、上空を飛ぶオオタカも全員見る
ことができた。さすが渡良瀬。(中島康夫)



片野鴨池探鳥会

連絡帳

●狩猟事故にご注意!!

毎年11月15日から翌年2月15日までは狩猟期間です。林や葦原の中などでハンターの姿を見かけたら、そこにバードウォッチャーもいることが分かるように行動して、誤射されないように気をつけてください。

今年は、北本市内の荒川河川敷の鳥獣保護区内でハンターが目撃されたという新聞報道(12月6日付け埼玉新聞)がありました。銃猟禁止区域などでも注意が必要です。

●関東ブロック協議会に出席

11月14日(土)と15日(日)の2日間、東京都青梅市御岳山の駒鳥山荘で、奥多摩支部主催の関東ブロック協議会が開催され、当支部からは、海老原美夫副支部長と橋口長和・藤掛保司両幹事が出席して、当支部提案の議題である協議会運営要領の改正などの議論に加わりました。

●会員の指導活動

坂戸市鶴舞まちづくり委員会高麗川河川改修勉強会の第6回野鳥観察会が11月29日(日)に開催され、黒木昭雄・坂口稔・坂口和子・増尾隆・増尾節子の5氏がリーダーを担当しました。

●会員の写真展と写真集

所沢市在住の武藤健二氏が写真展『野に生きる鳥たちー里山の野生ー』を開催します。期間：2月10日(水)～15日(月) 午前10時～午後7時30分(最終日午後4時まで)

会場：所沢駅前、西武百貨店所沢店7階コミュニティギャラリー(入場無料)

合わせて、同じタイトルの写真集も自費出版します。48ページ1,500円(税込み)で、所沢市内のナオイ写真商会、ノガミ写真商会などで取り扱います。

問合せ先：電話

●会員の自然観察会

今年も白馬自然観察会を開催します。

期日：4/21～23、5/26～28、6/23～25、7/21～23、8/25～27、9/22～24、10/27～29、11/24～26の8回と、1/20～22、1/25～27に番外の雪中観察会。

観察地：八方尾根、柵池自然園など、天候や季節で最適なポイントを選択。

参加費：18,000円(2泊4食宿泊代と移動用車代)。リフト、ロープウェイ代は別途。

主催・宿泊・問合せ・申込み先：〒399-9301長野県北安曇郡白馬村北城落倉高原14718、「にほめの一步」渡辺浩平、TEL/FAX 02 61-72-4491

●1月の事務局 土曜と日曜の予定

16日(土) 編集会議、研究部会議。

17日(日) 役員会議。

23日(土) 校正作業。

30日(土) 袋づめの会。

●会員数は

12月1日現在3,040人です。

活動報告

11月1日(月) 11月号発送作業(海老原美夫・倉林宗太郎)。

11月8日(日) 役員会議(司会：菱沼一充、大麻生駅ホーム看板の書き換え・「さわやか彩の国」取材に対する対応・その他)。

11月21日(土) 12月号校正作業(海老原美夫・喜多峻次・工藤洋三)。

11月30日(月) 12月号発送作業(海老原美夫・藤掛保司)。

同日 事務局整理作業(海老原教子、志村佐治、藤掛保司)。

編集後記

編集会議の日と近くの神社の酉の市が重なりに、事務局周辺が車両通行禁止。会議の時間が刻々過ぎていく車の中で作戦を練る。まず、ひたすら大声で明るく挨拶する。素直にごめんなさいと言う。アルコールも忘れてはいけない。つまみも……。そうそう、編集後記も人任せにせず、自分で書こう。(編集長)

『しらこぼと』1999年1月号(第177号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121,130
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階

(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事は上記ホームページに転載されることがあります。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用